

# 育成だより

第 11 号

平成7年3月31日

貝塚中学区

青少年育成委員会

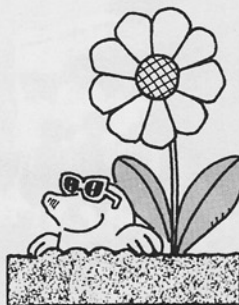
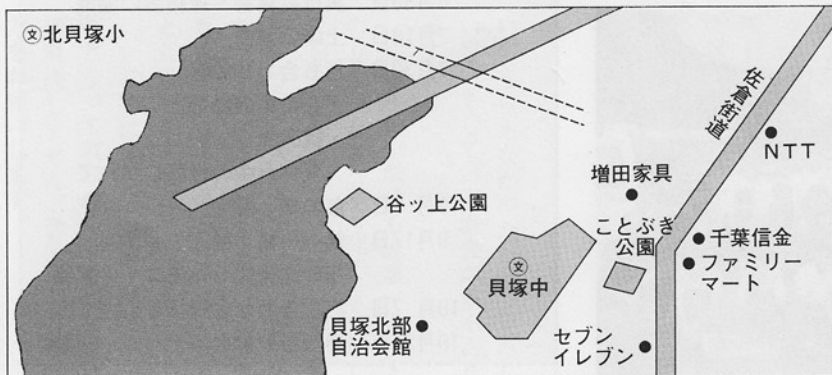
## 貝塚中学校通学路 の安全確保

貝塚中学校区育成委員会会長

田中 信夫

この事は、国道五一号千葉北バイパスの開通に伴って生徒の通学路が（現在二本）遮断されてしまったので、安全に横断出来る為に、バイパスに平行して取付け道路の建設が急務と考えました。平成元年から地域・学校が一体になって努力を続けて参りました、私共、育成委員会はその先頭に立って、千葉北バイパス対策協議会を設置して、市当局、若葉区役所、若葉区自治会連絡協議会へと要望を続けて参ります。

通学路安全確保が最優先であり、この考えを基本にして、今後関係の方々と相談して参ります。



## 少年による花と緑を 広める環境美化活動

本事業は、最近の少年非行及び少年を取り巻く環境が憂慮すべき状況にあることから、少年に地域の人々や少年相互の触れ合いを体験させるとともに、地域に対する奉仕の精神を養わせ、社会の一員としての自覚や努力することの大切さを学ばせることにより、規範意識を向上させ、もってその健全育成を目的とするもので、警察署を単位とした推進地区が全国二五カ所に設定され、都道府県少年補導員協議会活動として実施されるものです。

昨年は、千葉東警察署が「少年を守る環境浄化地区」の設定署に指定され、また都賀駅周辺が「環境浄化重点地区」ということから貝塚中学校区が選定されました。計画・実施につきましては、関係機関・学校・地域が一体となって行われました。

実施場所となった貝塚中学校では、花を育てるクラブを中心に各学級よりボランティアを募り、この事業への参加となりました。生徒たちの育てた花は、九月一七日に鉢への植え替え作業を行い、各施設・機関に贈呈されました。贈呈先は、養護老人ホーム・特別養護老人ホーム「和陽園」、重症心身障害児施設「桜木園」、若葉区役所、JR都賀駅、モノレール都賀駅・桜木駅が選定されました。

後日、贈呈先の施設より学校長宛に礼状が届き、参加職員・生徒たちもたいへん喜んでいました。貝塚中学校では、今回のようなボランティア活動（社会参加活動）を有意義なものにとらえ、今後も今回整備された花壇を利用し、このような活動を積極的に実施して行きたいと考えています。

### 参加人員

貝塚中学校生徒	39名
千葉東署少年補導員連絡会	延べ 6名
少年を守る環境浄化重点地区推進委員会	延べ 8名
学校関係者	延べ 8名
P T A関係者	延べ 4名
町内会関係者	延べ 4名
警察署	9名

### 実施経過

平成6年 6月17日	実施計画の策定
6月30日	実行委員会・連絡会の開催
7月18日	土壌の整備
7月30日	打ち合わせ会議 ・花の苗の種類選定 ・購入先 ・夏休み中の世話について
9月 1日	苗の植え替え
9月17日	鉢への植え替え 花の贈呈式セレモニーの実施
10月 7日	打ち合わせ会議(反省と今後の対応)
10月31日	参加者慰労会(グランドゴルフの実施)



## いじめへの対応を考える



千葉市立貝塚中学校  
生徒指導主任  
廣澤 文彦

昨秋、愛知県西尾市の中学二年生、大河内君がいじめを苦にして自殺した事件を機に再びいじめがクローズアップされてきました。八年前の鹿川君事件の教訓は何だったのでしょうかという思いがします。

「いじめ」については「強い立場にある人が単独または複数で、弱い立場にある特定の人またはグループに対して、言葉による冷やかしたり脅し、嫌がらせ、無視や仲間はずれ、たかりや暴力などの圧迫や攻撃を繰り返す行い、精神的・身体的に苦痛を与える行為」と定義され、売り手と買い手との関係において成立する「けんか」などとは区別されています。最近の「いじめ」の特徴は行為が攻撃的で陰湿であること、巧妙化していること、長期化していること、「いじめ」の行為を「いじめられる側も悪いから」と正当化すること、ゲームや遊びなどに偽装するいじめが多いこと、などがあげられます。また、大人の側でも「悪ふざけ」や「子供のけんか」などと軽く見てしまいがちです。特に、加害者側は加害者の

生徒の言い分を鵜呑みにしがちであるし、中には逆に被害者側に責任を転嫁することさえあります。

本校でも、いじめが全くない訳ではありません。ただ職員の間により大きな問題に発展してないだけです。そこで、本校では指導体制を見直すとともに再確認を行いました。

「いじめ」についての対応は、早期に発見するのが最良の方法といわれています。そのためには、我々教師は生徒と接する時間をより多く持ち、生徒に関する情報の収集・交換・共通理解を常に行い、生徒の変化に注意することが大切です。また、家庭との連絡を密に取り、学校と家庭との情報交換にも努めなければなりません。家庭だけでなく、地域の方からの情報も大変重要ですので、ご協力をお願いしたいと思います。

また、普段の学校生活の中では、「いじめ」の持つ意味を生徒たちに十分理解させ、「いじめをなくそう」という学級の雰囲気づくりに常に努めなければならないと考えています。

いじめを含め、子どもの言動は大人社会の反映とも言えます。我々大人が社会全体についてもっと考えていかなければならないでしょう。

## いじめについて思うこと



千葉市立貝塚小学校  
生徒指導主任  
吉野 稚久

数年前に、「アメリカインディアンの教え」という本が話題になりました。子育てのあり方の言い伝えと言えましょうか。その内容をおおまかにまとめますと「子供は、周りの人間にされたのと同じように、他の人に対して行動する。」と言えそうです。

年の近い幼い兄弟姉妹が親の愛

## お互い尊重し合おう



千葉市立桜木小学校  
生徒指導主任  
平田きよ子

桜木小でも、残念ながらいじめがないわけではありません。他の人より行動が遅いとか、はっきり自分の考えを言えない児童に向かつて冷やかしたり、からかったりする事例があります。

いじめの側にも問題があり、クラスの中で認められていなかったり、家庭で両親にしっかりと話を聞

情をめぐり、ねたみの気持ちを行動に示すことがあります。生来、人にはいじめにつながる心があるのかもしれない。

しかし、子供は行動の仕方を学習します。インディアンの教えに従えば、いじめを防ぐには、まず身近な親や教師が、子供一人一人をかけがえのない存在として温かく受け入れることやできるできないで区別（差別）せず努力を認めることなどが大切なのではないでしょうか。そんなことを思いつつ児童の指導に当たっています。

いてもらえなかったりと、さみしい思いをしている場合が多くあります。

桜木小の全職員も児童一人一人の心をつかみ、話を聞くようにしており、子供と一日一回は話をするようになっています。また、他の人の良いところを認め合い、互いに尊重し合うクラスを作っていくとしていきます。

いじめは、学校、家庭、地域が一帯となつて取り組んでいかなければ解決しません。みなさんのご協力をお願いします。



## レクリエーション部会

希望に満ち活気溢れる年になる筈の一九九七年、こともあろうに年明け早々未曾有の大震災に見舞われ多勢の方々が被害を受けました。ご冥福を祈りたいと思います。

さて私達レクリエーション部会は十名で構成され会員相互の「和」作りを最大の目的とし発展を目指して頑張っています。会員の皆様に喜んで載きたい一心で度重なる会合を開き無い知恵をしぼり、ある情熱を出しきって部員一同、一丸となって協力し合い助け合いながら行事活動に取り組みました。

## 環境対策部会

不良環境の排除と善良な環境の維持を目標に本年もパトロールを行って参りましたが、ピンクビラ有害図書は減少しました。

パトロールに当っては毎年問題点と対策を考え、その対応と指導を行っておりますがゲームセンターやたまり場などでは喫煙が行なわれていたり、商店での万引による被害も有る様です。

昨年十一月には高原千葉村に泊二日の研修旅行を企画し、又明けて一月にはリバーレーンに於てボーリング大会も開催致しました。共に多勢の皆様方のご参加協力を賜り部員一同心より感謝しています。今後共宜しくお願い致します。

(村井 博)



これからも、学校、地域、家庭とが常に連絡を取りながら一体となつて青少年に悪影響を与える恐れのある施設の撤去や有害図書の自動販売機撤去などの運動を推進する必要がありますと思います。

青少年の非行化防止と明るく安全な町づくりのためにも家庭における教育と今後の活動にご理解とご協力をいただきます様お願いいたします。

(加山貞子)

## 非行対策部会

非行の防止は大人の責任であり、私達に果せられた大事な任務であることを会員一同理解認識し次の活動を実施いたしました。

(一)子どもたちを非行から守る映画と講演の集い」八月十八日コミュニティセンターにて千葉東警察署茂手木防犯部長の講演と

## 福祉部会

青少年の健全育成活動には地域のより多くの人々の参加と支援が大切であると考えられます。福祉部会では、各地域の民生児童委員の方々と連携を保ち協力をお願いしながら、次のような活動をしました。

(一)夏休み各地区で行われる盆踊り会場周辺の巡回活動を実施。

(二)夏期及び年末に行われる、要保護世帯への慰問活動に併せ、状況の把握と生徒への励ましを実施しました。

(三)年間を通して各地の民生児童委員の方に、要保護世帯(母子家庭等)の実状に即した支援を

松崎防犯係長によるシンナー防止映画が上映され大変有意義でした。ご参加の皆様誠にありがとうございました。

(二)夏休みに納涼祭は各地区に分かれ実施され地区ごとに見廻りました。又ゲームセンターカラオケパチンコ店公園のパトロールを夏休みに行いましたが特に問題箇所はありませんでした。

(梶原顕五郎)

して下さるようお願いをしました。皆様にご協力をいただき有り難うございました。

(豊田新六)



平成6年11月 高原千葉村にて

## 交通安全対策部会

暮も押し迫った十二月二十五日、寒風吹きすさぶ中、都賀と桜木のふた手に分かれ通学路点検を致しました。

危険箇所を主に調べる事としましたが、現実はどこも危い所ばかり、安全な場所の方が珍しい位でした。現実にはしばしば事故が発生

## 健全育成部会

健全育成部会では、貝塚中PTA文化部と共催して、貝塚中図書室において育成関係者、貝塚中、桜木小、北貝塚小PTA約百名の方々のご参加を頂き、『さそり座は「心」の鏡文字』と題して講演会を開きました。講師は間山久彌先生。小学校、中学校、養護学校、千葉市教育委員会指導課での永年にわたる教職・役職経験で培われたユニークな教育観に基づいての貴重なお話があり、深く感銘しました。

また、夏休みには、各地区の盆踊り会場周辺の巡視、冬休みには、都賀駅東口・西口周辺の盛り場、公

している所や信号機があればなあと、いう場所を摘出して報告いたしました。

ところで、安全とは危険から離れる事だと言われます。子供達は、今日のこの様なリスクの多い中から実践的に危機回避をし乍ら通学するのでしょうか、皮肉って言えば、自ら学び取る安全教育なのではないでしょうか、考えさせられました。

(大野輝夫)

園の巡視、年間を通して「愛の一声運動」等、各地区で実施していただきました。皆様方のご協力に對し心より御礼を申し上げます。

(内山英昭)



## 平成六年度

### 千葉市青年育成委員会 東部ブロック研修大会報告

平成六年十月二十九日、白井中学校体育館にて盛大に行なわれました。

貝塚中学校区青少年育成委員会からは、次の事項が提案されました。

- 一、明るい通学路の確立
- 二、千葉北バイパス完成に伴う安全で不安のない通学路
- 三、情報網並びに連絡網の確立
- 四、有害図書数の自動販売機の撤去運動の推進
- 五、少年を守る環境浄化重点活動の推進

また、高根町整形外科病院院長高田典彦先生の「医療現場から見た人間心理」と題して、講演がありました。

医師として長年のご体験を通してのお話は次の様でした。

『昭和四十年インターンを終った私は、八才の患者に逢いました。雪だるまを作ったり雪合戦をした翌日手術。彼が目ざめた時は手術が終り片手がありませんでした。』

『なぜ、私に言ってくれなかった。』『何でも食べてしまおう子に…』

『家出』『再会』この子とこの様なことが縁で、私は整形外科医特に子供の病気の医師になりました。

子供が病気になる、家族はおろおろしてしまいます。

小学生以下は親の気をひこうとして、なんらかの問題をひきおこしています。

小学生になると、親が頼りになり、両親が力となります。

中学生くらいになると、友達が必要で、友達が力となり、訪問教育が必要となります。

高校生になると、退院しても、集まって来て、互いに情報を交換しながら、子供同志で病気の不安をとりあっています。病気に負けず、行事に参加し、明るく、自信を持つこと、興味を持つことが大切であると思います。

私は子供の前で両親をほめることを励行しています。

私はいやみのない人間になりたい。ふいんきのある人になりたい。たんたんとつきあえる様になりたいと、心がけています。

体育館入口の菊の鉢が雨の中で一段と美しく、やさしく感じられました。

## 第八回 サマーキャンプに 思う

今年のキャンプ場は、昨年中に既に申し込んである国立那須甲子のロッジである。環境等子供達を連れて行くには申し分のない所だ。

是非ともキャンプが成功する様に役員一同打合せを重ね、申込当日を迎えた。しかしここまでやったのがっかりする一瞬が来る。募集人員不足だ、どうするか迷うが申し込んでくれた子供達の気持ちを考えキャンプを行うことに決める。この時期、子供達も色々な活動があり忙しいと思う。キャンプの時期等色々な面で考え直すことも必要かと思う。

今年のキャンプは特に晴天に恵まれ、ハイキング・ゲーム等とても楽しい時間を持てた。子供達の笑顔に会えてまた次回のキャンプに向けての活力が湧いてきた。

(戸村一美)



### あとがき

「さそり座は「心」の鏡文字」

間山先生講演記録より

#### 「鏡育」

……私の言いたいことはですね。親は感情的にならず、破壊的にならず、常に冷静で素直で謙虚であってほしい。

そして、いつも親は、教師も含めてね。自分の心を鏡に映しながら育てる。この「鏡育」だと私は思います。……略

#### 「響育」

……今、わが国は心の教育ということが重視されております。それは、人間として最も大切な指導です。親と子・教師と子供・子供と子供の心の響き合いを育てる。この教育「響育」が現在の日本の教育には必要である。……略

育成だよりは活動をうつし出す鏡である。と自負して編集しました。皆様のご協力感謝致します。

(広報部)